

【NEWS RELEASE】

2020年2月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

学校法人聖学院に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、学校法人聖学院（理事長：清水 正之）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、学校法人聖学院については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

授業を通じた持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
-------------------------	---

課外活動を通じた持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
目標 10 人や国の不平等を なくそう	ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

学外組織とのパートナーシップを通じた持続可能な開発のための啓発活動

目標 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
--------------------------------	---

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



聖学院大学「平和学」の授業



聖学院中高のタイ研修旅行



女子聖学院中高、パラスポーツ応援

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。